



石井 正三氏

「暑さ寒さも彼岸まで」と言うが、今年は彼岸花が咲いても暑く、その後急速に十一月の寒さに転じて、山にはムラサキアケビが実り、口を開けてきた。平仄は合ってきたが、半袖中心から急いで長袖を出したりとゴチャゴチャになっている。

この急激な気候の変化は、特に高齢者にはキツく、体調を崩す方もいる。こういう状況は「気象変動」と呼ばれ、平均気温や海水温の極端な上下動による「気象の極端化」と表現される。

台風は南方洋上で発達し、日本列島にやって来るパターンだったが、沿岸の海水温が上昇すると近海で発生して強大化してすぐに上陸する傾向になっている。

これは、二〇一三年十一月八日、台風30号ヨランダの直撃を受けたフィリピン Leyte 島の被害と同じパターンだ。全壊した医師会館再建に日本医師会員の募金で協力した。現地に行つた際、高潮と暴風の大波で船が沿岸の建物の上に乗っていて、東日本大震災の時に目の当たりにした風景が脳裏に甦り、寒気がした。

線状降水帯という豪雨災害も増え、先日は静岡県で洪水被害があった。氷河が後退すると押し寄せた土砂がそのまま氷河湖を形成し、大雨で一気に決壊すると下流に甚大な洪水被害を起こすと言われる。

今年、パキスタンの洪水は水が引かずにそのまま大きな湖沼に変わるような勢いになっている。北米では五大湖が氷河湖と言われる。ジョン・レノンが暗殺されたダコタハウスに面したニューヨークのセントラルパーク、鎮座している巨岩たちは氷河が運んだ置き土産という。

私たちはこういう圧倒的な自然エネルギーの脅威を肌で感じながら、今後を考える必要がある。

### Sホールで毎年発表

日本の河川周囲の田畑は遊水池として洪水調整機能があつた。時々水があふれ、蛇行した河川の周りでは追肥効果があり収量が増えるから一石二鳥的な役割を果たしてもいた。雷は窒素を土壌に定着させてくれる。猛暑の時期、田園地帯の水分を含んだ上昇気流で一天にわかにかき曇つて雨になると、気温も和らぐ。

宅地だけでなく都市機能そのものが脆弱化したのだ。先年の好間川や夏井川の洪水被害が、浄水取り入れ口の水没や停電などと重なって復号災害化した理由にもなる。

高度に文明化した日本では、一般災害がそのまま複合化する、従ってレスキューも陸海空だ。二〇一五年九月九日に発災した常総水害では、利根川に鬼怒川・小貝川が合流して水海道という地名が残る古来の水運集積地帯が水没した。

鬼怒川決壊部の上流側に病院、下流に市役所と病院があつた。次第に水没したため入院患者とスタッフ、そして現場対策本部までもが避難移動しながら、自衛隊の救助ボートによるレスキューや転院作業を待った。

夜に重症者を外階段からボートに移乗させ、医療スタッフが付き添い、転送先を探すのは大変な作業だ。道路や電車などインフラも機能不全となり、自衛隊や羽田からの海上保安庁特救隊、そして消防防災ヘリを総動員しての住民吊り上げ避難が実行された。

## 人間の判断が最優先

### 傷付いたグローバル神話

戦後の再開発で遊水池を埋め立て宅地造成する都市化が、全国で進められた。自然の摂理を失ったことで、造成



2019年10月の台風19号の影響で大きな被害が出た平の平窪地区

救助された着の身着のまま

状態の住民の生活・健康支援は地域を超えた多職種チームの総力戦となった。内閣府と茨城県医師会の事後検証に私も加わったので印象深い。

ご縁があつて、故近藤洋子

先生の弟子の一員としてサントリーホールで毎年、ピアノの発表の機会を頂いている。

以前はドビュッシーやラヴェルを演奏していたが、この数年ベートーヴェンが続けている。今年は第9番ソナタ、ハ

イリゲンシユタットの遺書を書いた第8番「悲愴」の次の

曲。

古典的形式感とそれにとどまらない多彩な表現、見通しの立たない世界で強いエネルギーをまよめ上げる意志の力・喜びや哀しみの心情までが込められている。

### 読者の皆さまに感謝

ベートーヴェンの「運命」や「合唱」は、絵画での葛飾北斎の大波ビッグウェーブ級の人類共通のイメージとして世界に浸透している。

専門である脳の認識論から考えると、紙の上の音符が手足を使った楽器

演奏で波動に変換されて立ち昇る様子には、深い内容がある。人間の五感とは視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚とされ、それぞれの受容体から情報として大脳で統合される。視覚とは、光という波でもあり粒子でもある

信号を眼で受信し認識する。

聴覚とは空気の振動を鼓膜で受けて骨伝導系からカタツムリ型の受信器のところから内リンパ液という水の振動となり、共振する有毛細胞での電気信号に変換され受容する。

嗅覚は鼻粘膜に直接伸びた脳細胞の端末から入力され、味覚は舌の受容器から、触覚もいくつかの感覚器から電気的信号に変換されて、同様に電気と伝達物質を経て大脳に入る。

それぞれが違った次元の情報に見えるかもしれないが、元の情報は光も音も波動とそのエネルギーの一種と言える。それらの情報は神経繊維での電気信号と、細胞間の伝達物質の連鎖で大脳に入力され、脳内で統合されたイメージができる。この出来上がったイメージを脳から脳にどれ位伝わっているのだろうか。

権威主義的政権による独裁や外部への情報奪取や侵略が目立ち、二十一世紀のグローバリゼーション神話は大きく傷付いた。これに対して「デカップリ

ング」と呼ばれる経済的な切り離しが進み、最近では「セグ

レゲーション」という形で自由と民主主義の度合いで共通できる同志がブロック化して関係を深化させようという機運となっている。

バーチャル化などが進歩と持ち上げられるこれからの時代でも、最も大切なのは人間やその判断が最優先されるべきだとの思いを、ここまでのお付き合い頂いた読者の皆さまへの感謝と同時に共有しておきたい。

|| 休筆

### 筆者プロフィール

石井 正三

(いしい・まさみ)

地域医療連携推進法人医療戦略研究所所長・代表理事、ハーバード公衆衛生大学院名誉武見フェロー、東日本国際大学健康社会戦略研究所所長・客員教授、医療法人社団正風会理事長

## パート従業員

募 集

・社員登用あり ・詳細は面談にて

老人施設、高齢者、障害者の給食・社員食堂・学食・弁当販売・移動販売



テンミール株式会社  
アジアンミール株式会社

株式会社テンミールIWAKI  
株式会社一平

テンミールグループ

本 部: TEL.0246-88-6010  
業務本部: TEL.0246-68-8254

いわき市若葉台1丁目18番地の18